

芦野団地市営住宅 (No. 7号棟) 建替建設(機械設備)工事

設計図

五所川原市役所 建築住宅課
株式会社 青 和 設 計

[illegible]

[illegible]

● 3. 機材の承諾図

● 4. 環境への配慮

● 5. 足場その他

● 6. 埋戻し土及び盛土

● 7. 容量等の表示

● 8. 電源周波数

● 9. 電動機

● 10. 耐震施工

機械設備工事機材承諾図様式（令和4年版）によるほか、監督職員の手指示による。

(1) 本工事において、国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（平成25年法律第100号）に基づき、環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月閣議決定）による特定調達品目の判断の基準を満たす環境物品等を選択するよう努める。

ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。

①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウレタン樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

※別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。

○本工事で設置する。

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき、足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。

○内部足場（○ 種、○ 種） ○外部足場（○ 種、○ 種）

イ）管周囲の保護 ※山砂の類（ただし、コンクリート管の周囲は根切り土の良質土）

ロ）埋戻し土及び盛土 ※根切り土の中の良質土 ※山砂の類

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は原則として表示された数値以下とする。

50 Hzとする。

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてとする。

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。

ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。

(1) 設計用水平地震力

機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

	機 器 種 別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは地階を除く2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

・水槽類とはオイルタンクを含む。

・重要機器は次に示す。

名称

記号

名称

記号

名称

記号

名称

記号

名称

記号

名称

記号

名称

記号

名称

記号

(1) 地域係数 ※1.0 ○0.9

(2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とする。

(3) 機器類および支持架台類固定用のワッシャーの選定は座屈防止を十分検討する。

● 11. 総合試運転調整

● 12. 弁等のサイズ

● 13. 建物導入部配管の変位吸収

● 14. 絶縁継手取付箇所

● 15. 支持及び固定

● 16. 支持金物・固定金具

● 17. 地中埋設標等

● 18. 技能士の適用

● 19. 他工事との工事区分

各機器の個別運転調整後に次の総合調整を行い、測定報告書提出する。

○風量調整 ●水量調整 ○室内空気温度の測定

○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音測定

○飲料水の水质の測定：費用（○本工事 ○別途）

○雑用水の水质の測定：費用（○本工事 ○別途）

特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

図示の箇所に施工する。

施工方法は「標準図」建築物導入部の変位吸収配管要領（一）、（二）による。

（ ●（a） ○（b） ○（c） ）

図示による。

標準仕様書記載以外の天井吊形、カセット形、天井隠へ形の機器の支持は吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとす。

イ）ポンプ、屋外機器及び屋外の配管、ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）又は 溶融亜鉛メッキ製とする。

ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

ハ）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

ニ）冷媒管の吊り用支持受け材として保護プレートを用、断熱材被覆銅管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食込みを防止する。

1）地中埋設標（図示の位置） ※要 ●不要

2）埋設表示テープ（排水管を除く） ※要 ○不要

●配管施工（配管工事） ○建築板金施工（ダクト製作及び取付け）

●熱絶縁施工（保温工事）

○冷凍空調機器施工（リチングユニット、パッケージ型空調機の据付け及び整備）

工事区分表による。

●20. 配管

●21. 保温外装

●22. 塗装

○23. 電線類

○24. 案内板等

○25. 計器類

●26. 土工事

●27. 貫通部の処理

○28. 危険物設置時の屋外表示板

(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。
※呼び径60Su以下 (※プレス式 ※拡管式)
(2) 溶接部の非破壊検査 ※不要 ○要()
(3) 呼び径50以下の鋼管のねじ加工は原則として転造ねじ加工とする。
ただし、樹脂ライニング鋼管(ホリ粉体鋼管を除く)のねじ加工は切削ねじ加工とする。
(4) 排水管の90°曲管は原則として大曲管とする。

(1) 屋内露出の保温外装は、合成樹脂カバー2とする。
(2) 床下暗渠内(ピット内を含む)の保温に使用する着色アルミガラスクロスの外装色の分類は、以下を標準とする。

外装色	
消火管	白色
給水管	青色
給湯管	黒色
冷水・冷温水管	緑色
温水・蒸気管	赤色

(1) ○保温を行わない居室・便所・湯沸室及び屋外の露出配管(鋼管)、ダクトには塗装を行う。
●図示による。
(2) 露出金属電線管は次の部分の塗装を行う。
○屋外架空部 ○機械室 ○屋内一般

電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
機器等の取扱い方法及び系統を書いた図面(図面呼称A1の図面(枚)をプラスチックケースに入れ、監督職員の指示する場所に設置する。
屋外に設置する危険物表示版等の材質はアルミニウム製とする。

(1) 熱源機器には、個々に地震感知器を付属する。
(2) 圧力計、連成計、水高計及び電流計等の計器類には、正常値を示す赤指針を設ける。

(1) 配管は下記による。

埋設深さ(m)		土工事区分		埋戻し用土	
構内一般	構内専ら	機械室	人工土	掘削土	客土
給水管	図示	図示	●		●
排水管	〃	〃			●

(2) 公道部は、水道事業者、下水道事業者、ガス供給事業者及び道路管理者規定による。
(3) 設計図面に示された配管工事で掘削深さが1,500mmを超える場合は、図示による方法で土留めを行う。
(4) 土中埋設配管は、配管径100mm・配管上全てを山砂等で埋め戻す。
(5) 残土(発生土を含む)処理
※ 構内指示の場所に敷き均し
※ 構内指示の場所に堆積
● 構外搬出適正処理 ※本工事(約7km(搬出調査等を提出する))
○ 別途工事

標準仕様書によるほか、冷温水管及び蒸気配管の貫通部には、鞘管を入れ隙間を断熱材等で埋める。
○樹脂製 ○アルミ製

○1. 設計温湿度

○2. ばい煙濃度計

○3. 鋼板製煙道

○4. ダクト

○5. 風量測定口

○6. ダンパー

○7. 弁類

○8. 鋼管用伸縮管継手

○9. 温度計

○10. 瞬間流量計

○11. チャンパー

		外気条件		屋内(調整目標)			
		温度(DB)	湿度(RH)	一般系統			
		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	9時	30.2℃	64.5%	28℃	45%	℃	%
	12時	32.1℃	58.3%				
	14時	32.0℃	60.0%				
	16時	31.3℃	62.3%				
冬季	-5.5℃	83.7%	19℃	40%	℃	%	

熱源機器の水温水条件

送水温度		戻水温度	
70.0℃	70.0℃	℃	℃
送水温度		戻水温度	
15.0℃	15.0℃	℃	℃

取付箇所は図示による。
板厚は煙道径300mm以下は3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。
煙道を設置する場合、ばいじん測定口(口径100φ、タッピング)を設ける。
(煙道径400mmを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付ける。)

※低圧ダクト(長方形ダクトは、※コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法)
○高圧1ダクト(適用範囲は図面による)

取付箇所は図示による。取付面は監督職員の指示による。

1) 防煙ダンパー 復帰方式 遠隔式(定格入力はDC24V、0.7A以下とする。)
2) ヒストンダンパー 復帰方式 遠隔式

※5K
呼び径65A以上の弁は、バタフライ弁とする。
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
冷温水コイル及び蒸気加熱コイル廻り(標準図施工37・41)の弁は仕切弁とする。

○ベローズ形 ○スリーブ形

円形指示計とする。

止水コック付とする。(※ 固定形 ○ 着脱形)
着脱形の流量指示部(○40A用 個、○100A用 個、○250A 個)を付属。

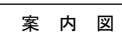
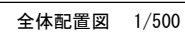
イ) 内貼を施すチャンパー類の表示寸法は、外形寸法を示す。
ロ) 空気調和機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系統で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
ハ) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパーは雨水の滞留のないように施工する。

No. 24200

DATE R07.03.25

空調設備	<p>○12. 保温</p> <p>イ) 蒸気還り管は保温不要とする。(屋内露出は除く) ロ) 屋外露出管(弁、フランジを含む)の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4表2.3.3 E2・(ハ)とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ハ) 還気ダクトの保温 ※不要 ○要(保温の厚さ25mm、範囲は図示による) ニ) 外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※要、○不要 ホ) 排気ダクトは外壁開放部より1m程度を保温する。(チャンパーボックスを含む) ヘ) 冷媒管の保温 ※要 屋外露出部 ※保温化粧ケース(樹脂製) 居室 ※保温化粧ケース(樹脂製) 屋上 ※保温化粧ケース(※亜鉛めっき鋼板製 ○SUS製) ト) 建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁(空気抜き弁を含む)までとし、仕様は標準仕様書の冷温水管の項による。 チ) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚さ: mm リ) 温水暖房のパネルヒーターへの屋内露出管 ○施工する ※施工しない ヌ) 蒸気管の保温 暖房する室の暖房用蒸気立て管(主管を除く)及び分枝管: ○施工する ※施工しない</p> <p>次の部位に使用するダクトには塗装を行う。 ○制気口ボックス内面(居室、便所の見えかきり部) ○図示による。</p> <p>吹出口に接続するチャンパーの消音内貼りは図示による。</p> <p>○13. 塗装</p> <p>○14. 消音内貼り</p> <p>○15. 緊急遮断弁</p> <p>○16. 注油口及び指示ボックス</p> <p>○17. カセット形ファン コイルユニット (風量分配ダクト)</p> <p>○18. 温水パネルヒーター</p> <p>○19. 電気パネルヒーター</p> <p>イ) ケーシングはステンレス製とする。 (2) 便所に設置する場合は、いたすら防止カバー付とする。</p>
換気設備	<p>○1. 準拠事項</p> <p>[空調設備の当該事項に準ずる。] ○ダクト ○風量測定口 ○ダンパー ○チャンパー ○塗装</p> <p>○2. 開放形通排器用排気フード</p> <p>○3. 厨房用排気ダクト</p> <p>○別途 ○本工事</p> <p>アンクルフランジ工法とする。 ○亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 (SUS304) (板厚は衛生器具表空調1の厨房排気ダクトの板厚表による)</p> <p>○4. 厨房用排気フード</p> <p>イ) 材質(天幕とも) ○ステンレス鋼板 (SUS304) ○ ロ) フード周囲の天幕(フード面から天井面まで) ○取り付ける ○取り付けない ハ) フードコック ○取り付ける ○取り付けない</p> <p>●5. 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>イ) 厨房系統、浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統のダクトのシールは「標準型」シールの施工例(一)、「(二)のNシール+Aシール+Bシールとする。 ロ) 水抜き管 ○ 要 ○ 不要</p> <p>○6. 保温</p> <p>全熱交換器(空調換気扇)の外気取入れダクト(OA)、給気ダクト(SA)及び排気ダクト(EA)はすべて保温する。</p> <p>○7. 換気扇類</p> <p>換気扇類は低騒音形以上とし、有圧換気扇は保護ガード付とする。</p> <p>○8. 給排気口</p> <p>外壁に設置するベントキャップ、ウェザーカバー等には、給気用に防虫網、排気用に防鳥網を取り付ける。</p>
排煙設備	<p>○1. ダクト</p> <p>○亜鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm)</p> <p>○2. 排煙口の形式</p> <p>○パネル形(○天井取付 ○壁取付) ○スリット形(○天井取付 ○壁取付) ○ガンバー形(○天井内取付 ○)</p> <p>○3. 排煙口開放及び復帰方法</p> <p>○電気式(遠隔操作 ○要 ○不要) 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による耐熱・耐火ケーブルとする。</p> <p>○4. 排煙風量測定方法</p> <p>建築設備定期検査業務基準書2016年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。</p>
自動制御設備	<p>○1. システム構成その他</p> <p>別図による。</p> <p>○2. 計装用配線</p> <p>電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠蔽の配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。</p> <p>○3. 電動弁</p> <p>開閉状態の遠方表示用接点を ○設ける ○設けない。</p> <p>○4. 弁耐圧</p> <p>MPa</p> <p>○5. その他</p> <p>(1) 室内温湿度検出器等を2個以上併設する場合は、サーモケースを使用する。 (2) 電動機用電圧計は延長目盛電圧計とし、赤指針付きとする。</p>
衛生器具設備	<p>○1. 衛生器具ユニット</p> <p>別図による。</p> <p>○2. 身障者用洗浄弁</p> <p>※ センサー式 ○ タッチスイッチ式 ○ くつばり式押しボタン</p> <p>●3. 大便器用便座</p> <p>※ 暖房便座(○脱臭機能付 ○擬音装置付) ○普通便座 ○温水洗浄便座: 加熱方式: ○ 貯湯式 ○ 瞬間式 付加機能: ○ 節電機能 ※ 脱臭機能 ○ 温風乾燥機能 ○ 擬音装置 ○ リモコン 温水洗浄便座への給水は市水を接続する。</p> <p>○4. 注記版</p> <p>※ 設けない ○ 設ける(※ 陶器製 ○ 樹脂製) 対象器具は図示による。</p>
<p>芦野団地市営住宅(No.7号棟)建替建設(機械設備)工事設計図 DR.NO. M-01</p> <p>機械設備工事 特記仕様書(1)</p> <p>SCALE (A2)N.S</p> <p>館山 佐々木</p> <p>株式会社 青和設計</p> <p>1級建築士事務所 青森県知事登録 第004号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館山 良子</p> <p>青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)</p>	

[illegible]



株式会社 青 和 設 計
 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
 管理建築士 館 山 良 子

機器・器具表

衛生器具表

名 称	仕 様 ・ 規 格 ・ 型 式 (参考品番)	数 量	室 名	備 考
洋風大便器	タンク式床排水節水Ⅱ形大便器・暖房便座 BC-Z30S-KJ/BW1, DT-Z380-KJ/BW1, CF-18ALJ/BW1	2	W C	手洗付
L型棚手すり	棚付2連紙巻器、ワンハンドカット NKF-3WU2/LP	2	W C	
シングルレバー混合栓	吐水口長さ170mm、寒冷地仕様 SF-WL435SYN(170)	2	L D K	
洗濯機用2ハンドル混合栓	緊急止水付、寒冷地仕様 SF-WL63KQAN	2	洗面脱衣室	二槽式洗濯機用アダプター(A-1897)共

換氣機器表

記 号	名 称	仕 様 ・ 規 格 ・ 型 式 (参考品番)	数 量	室 名	備 考
HEU-1	全熱交換器	壁掛形(寒冷地仕様) 有効換気量：79m3/h, 1φ100V-33.0W VL-16EU3-D	2	L D K	SW(P-04SWL2)は電気設備工事に支給
HEU-2	全熱交換器	壁掛形(寒冷地仕様) 有効換気量：19.0m3/h, 1φ100V-8.5W VL-08JV3-D	4	特 定 寝 室 洋 室	SW(P-11SWL2)は電気設備工事に支給 給排気パイプ(P-30P2-S)共
FE-1	換気扇	天井埋込形(低騒音形) 能力：100φ×65m3/h×35Pa, 1φ100V-7.2W VD-10ZC14-C	2	W C	
VC-1	壁掛2パイプ取付 タイプ専用フード	100φ、丸形SUS製、防虫網(10M) P-100CVSQ6	2	HEU-1用	指定色焼付塗装、給・排2台1組
VC-2	壁掛1パイプ取付 タイプ専用フード	100φ、丸形SUS製、防虫網(10M) P-50CVSQ6	4	HEU-2用	指定色焼付塗装
VC-3	軒天用 ベントキャップ	150φ、SUS製、ギャラリ・防虫網(10M) AT-150NBWSL	2	レンジフードファン 給気用	指定色焼付塗装 レンジフードファン本体は建築工事
VC-4	深形スクエア フード	150φ、SUS製、ギャラリ・防虫網(5M) AT-150HWS	2	レンジフードファン 排気用	指定色焼付塗装 レンジフードファン本体は建築工事
VC-5	深形スクエア フード	100φ、SUS製、ギャラリ・防虫網(5M) AT-100HWS	4	FE-1用 UB親子換気扇用	指定色焼付塗装 UB換気扇本体は建築工事

給湯機器表

記 号	名 称	仕 様 ・ 規 格 ・ 型 式 (参考品番)	数 量	室 名	備 考
WHO-1	石油給湯器	型 式 : FF式壁掛型 (給湯専用) 給湯能力 : 46.5kW、灯油消費量 : 5.3L/H 電 力 : 1φ100V-120W (点火時140W) UIB-AG472 (FFW) 給排気筒セット (QU8-2SM) 及び付属品一式	2	洗面脱衣室	

送油機器表

記 号	名 称	仕 様 ・ 規 格 ・ 型 式 (参考品番)	数 量	室 名	備 考
OT-1	オイルタンク	型 式：ホーム型（溶融亜鉛メッキ銅板） 容 量：灯油 198 L サ イ ズ：1,120 L × 331 D × 1,563 H 搬入重量：41kg KS3-200SJ 付属品一式	2	屋 外	
	防 油 堤	材 質：アルミニウム合金（A5052P） 容 量：250 L AL-250G 付属品一式	2		あと施工アンカー仕様 接着アンカー（溶融亜鉛メッキ仕上げ） M12 深さ100mm以上 × 4本 （2組/基）

保温仕様表

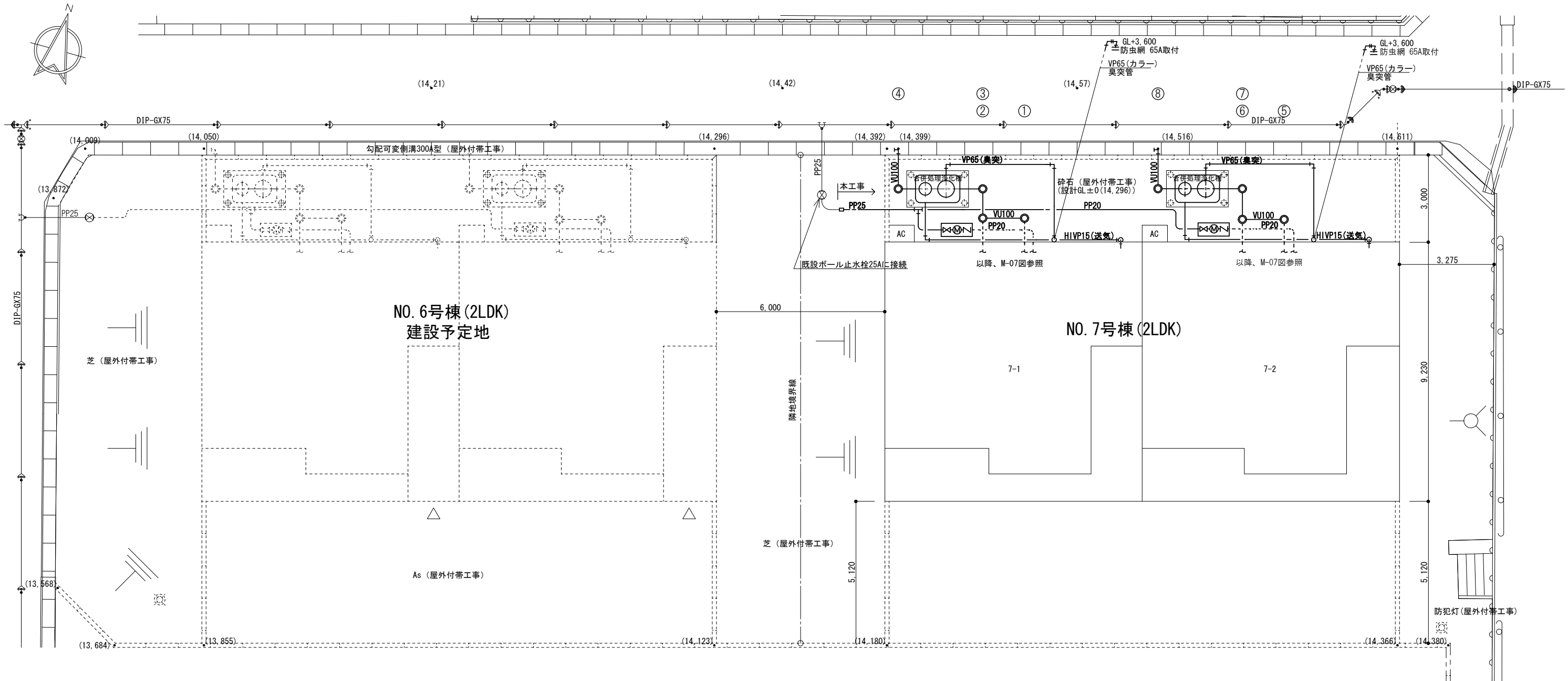
給水管	屋内隠蔽：C・(ハ)・Ⅶ アルミガラスクロス化粧(P)保温筒t=20+アルミガラスクロス粘着テープ
	床下：d・(ハ)・Ⅶ (P)保温筒t=20+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス
	屋内露出：a2・(ハ)・Ⅶ (P)保温筒t=20+粘着テープ+合成樹脂カバー2
給湯管	屋内隠蔽：C・(イ)・Ⅰ アルミガラスクロス化粧(R)保温筒t=20+アルミガラスクロス粘着テープ
	床下：d・(イ)・Ⅰ (R)保温筒t=20+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス
	屋内露出：a2・(イ)・Ⅰ (R)保温筒t=20+鉄線+合成樹脂カバー2
一般換気ダクト	屋内隠蔽：N・(イ)・XI アルミガラスクロス化粧(R)保温帯t=25+アルミガラスクロス粘着テープ
レンジフード用排気ダクト	屋内隠蔽：h・(イ)・IX (R)保温帯t=50+鉄線+アルミガラスクロス+亀甲金網

※ (P) ポリスチレンフォーム (R) ロックウール

ガス配管(屋外露出)塗装仕様表

塗料の種別	下塗り	中塗り	上塗り
一液形変性エポキシ樹脂錆止めペイント(下塗り)	1	1	1
合成樹脂調合ペイント(中・上塗り)			

No.	24200	芦野団地市営住宅 (No. 7号棟) 建替建設(機械設備)工事 設 計 図 DR. NO. M-05 機器・器具表 ・ 保温仕様表 ・ ガス配管塗装仕様表 SCALE (A2) N. S. <div><div>館山</div><div>登本</div></div> 株式会社 青 和 設 計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市千蔵谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代) 管理建築士 館山 良子
DATE	R07. 03. 25	

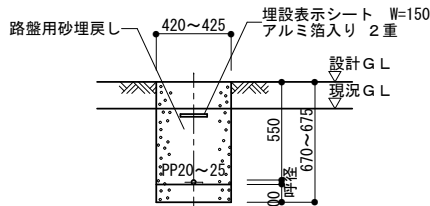


屋外給排水設備平面図 S=1/100

注記) 設計GL±0=BM-260 (14, 616) ※BM位置はM-04参照
図示の(〇〇, 〇〇)は別途外構工事における計画GLを示す。
側溝接続部のエルボ返しは、側溝底から50mm確保すること。
臭突管の立上りはカラーVPとし、防虫網は樹脂製とする。
臭突管の管底は設計GL-270とし、先上り勾配とする。
フロア配管の管底は設計GL-200とし、先上り勾配とする。

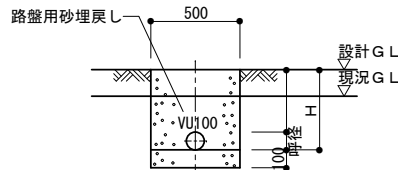
汚水樹リスト

	樹番号	規 格	管底高	計画 G L	樹深さ	勾配	樹 蓋
1号室	①	100-150-90° L	14, 316	±0 (14, 616)	300	2. 00%	樹脂製メスライト蓋 チェーン付
	②	100-150-90° Y	14, 286	±0 (14, 616)	330	2. 00%	樹脂製メスライト蓋 チェーン付
	③	100-150-90° L	14, 264	±0 (14, 616)	352	2. 00%	樹脂製メスライト蓋 チェーン付
	合併処理浄化槽 流入		14, 247	±0 (14, 616)	369		浄化槽天端は設計GL+30とする
	合併処理浄化槽 流出		14, 247	±0 (14, 616)	369		浄化槽天端は設計GL+30とする
	④	100-150-90° L	14, 235	±0 (14, 616)	381	2. 00%	樹脂製メスライト蓋 チェーン付
	勾配可変側溝 300A型に放流 H=395 (14, 004)		14, 211	-217 (14, 399)	188	2. 00%	
2号室	⑤	100-150-90° L	14, 316	±0 (14, 616)	300	2. 00%	樹脂製メスライト蓋 チェーン付
	⑥	100-150-90° Y	14, 286	±0 (14, 616)	330	2. 00%	樹脂製メスライト蓋 チェーン付
	⑦	100-150-90° L	14, 264	±0 (14, 616)	352	2. 00%	樹脂製メスライト蓋 チェーン付
	合併処理浄化槽 流入		14, 247	±0 (14, 616)	369		浄化槽天端は設計GL+30とする
	合併処理浄化槽 流出		14, 247	±0 (14, 616)	369		浄化槽天端は設計GL+30とする
	⑧	100-150-90° L	14, 235	±0 (14, 616)	381	2. 00%	樹脂製メスライト蓋 チェーン付
	勾配可変側溝 300A型に放流 H=395 (14, 113)		14, 211	-108 (14, 508)	297	2. 00%	



給水管布設断面図 S=1/30

注記) 浄化槽廻りの給排水管の埋戻しは計画GLまでとし、
その他は現況GLまでとする。



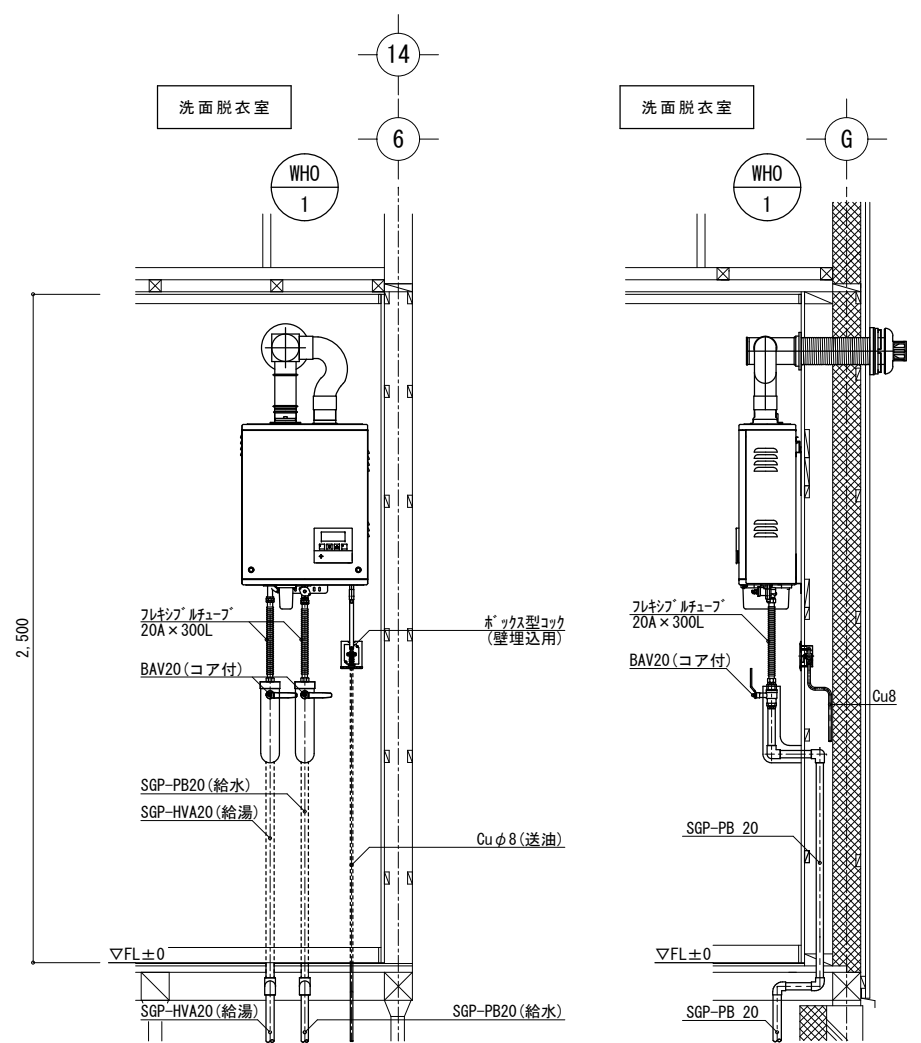
排水管布設断面図 S=1/30

注記) 浄化槽廻りの給排水管の埋戻しは計画GLまでとし、
その他は現況GLまでとする。







屋外給排水設備 仕様表

名 称	記 号	仕 様	数 量	備 考
インバート樹	⊙	塩ビ製小口径インバート樹	8	(汚水樹リスト参照)
量水器	Ⓜ	13mm 貸与品	2	量水器ボックス(本工事)設計GL+30 参考品番:MB-25RH
止水栓	⋈	ボール止水栓 13mm	2	
逆止弁	∨	自重式逆止弁 13mm	2	

No. 24200	芦野団地市営住宅(No. 7号棟)建替建設(機械設備)工事設 計 図 DR. NO. M-06		
DATE R07. 03. 25	屋外給排水衛生設備平面図・布設断面図 SCALE (A2) 1/100		
	青 和 設 計		
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子		

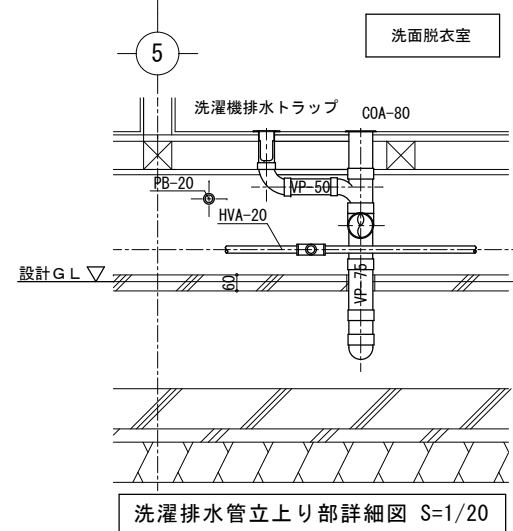


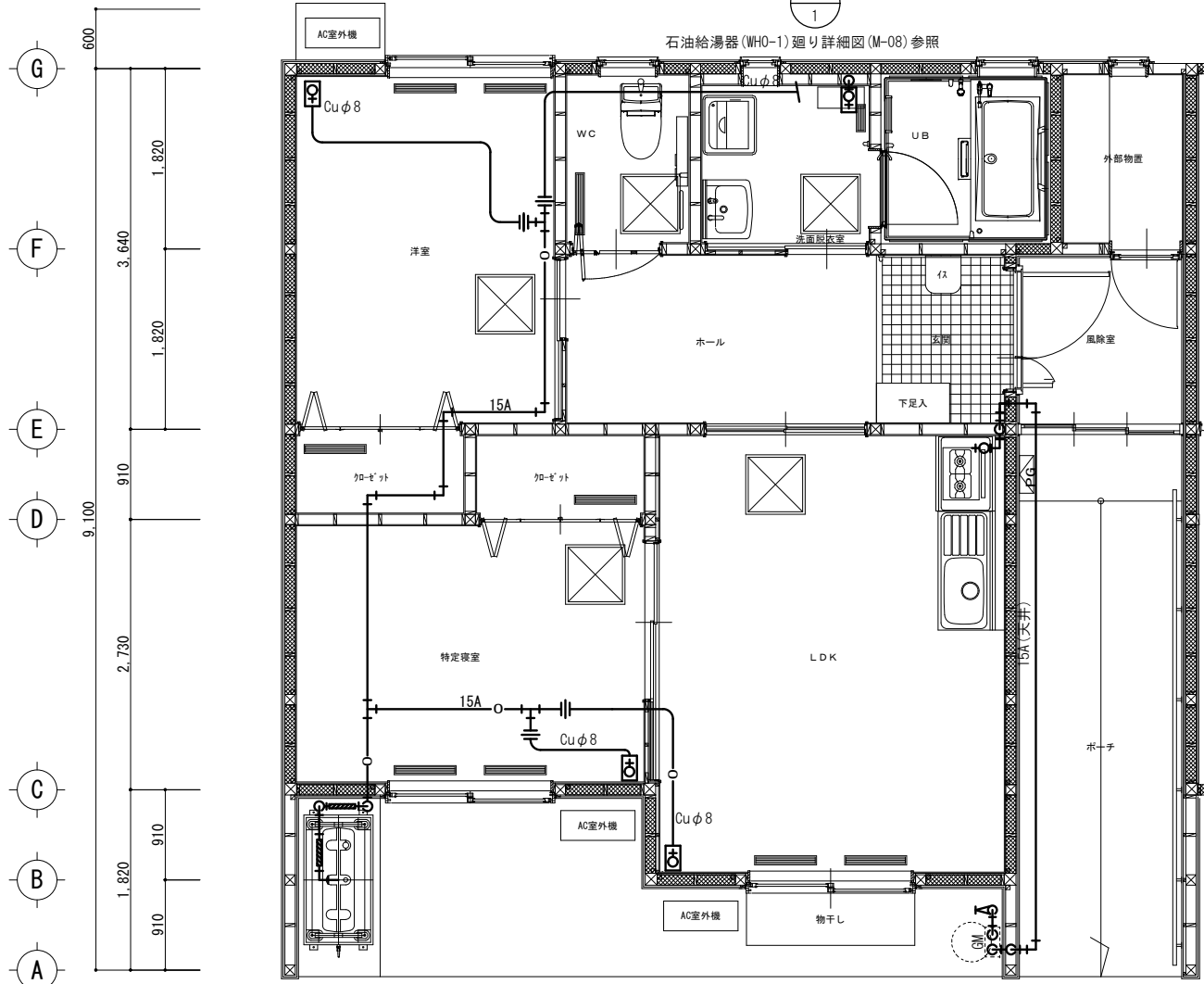
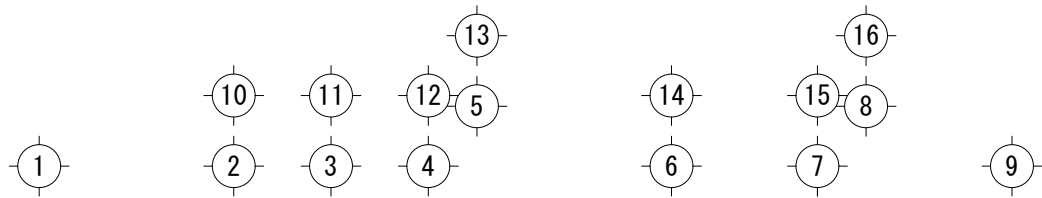
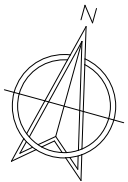
湯水抜栓廻り詳細図 S=1/20

名 称	記 号	仕 様	数 量	室 名	備 考
湯水混合栓		衛生器具表による			
湯水抜栓		湯水抜栓 20A×600L 参考品番:MX-D 床用開閉器(U-J相当)	2	洗面脱衣室	浸透枳(0M-K相当) 共
ボール弁		管端防食ねじ込み形 10K	4 (給水用) 4 (給湯用)	洗面脱衣室 床下	
床上掃除口		COA 非防水	1	洗面脱衣室	
床下掃除口		CO	1	L D K 床下	
洗濯機排水トラップ		差込型 50A 参考品番:MB44KF	2	洗面脱衣室	

注記 給水管の管種について、湯水抜栓までPP、湯水抜栓から床下押えCON上部までSGP-PD、以降SGP-PBとする。なお、UB接続はXPEPとする。

注記 湯抜栓接続から押えCON貫通部までの給湯管 (SGP-HVA) には、防食処理を行うこと。





オイルタンク (OT-1) 廻り詳細図参照

ガスポンベ廻り詳細図参照

送油・ガス設備平面図 S=1/50

送油設備 仕様表

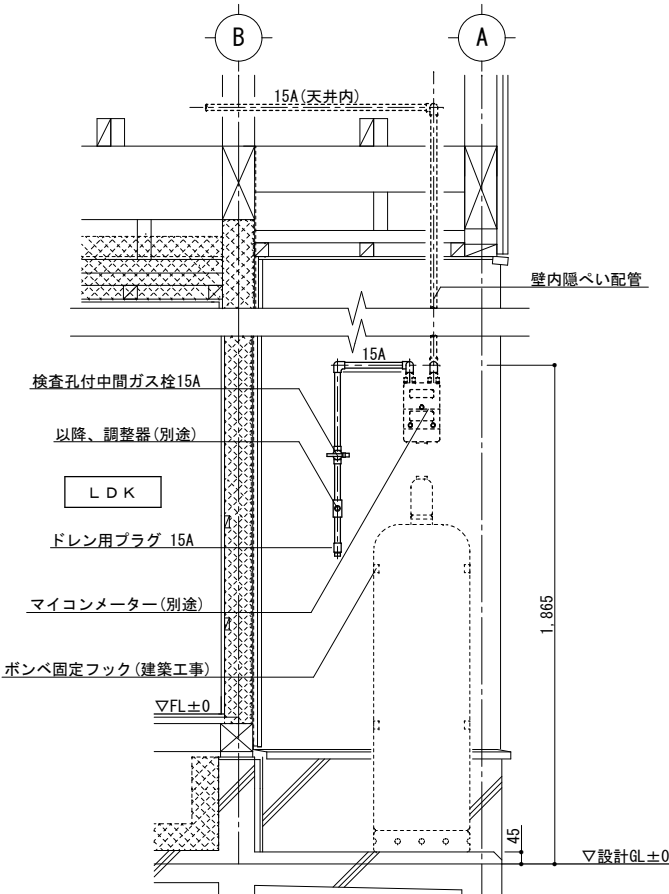
灯油用ボックス型コック		数 量	室 名
	壁埋込用コック Cuφ8	2	洗面脱衣室
	床用コック Cuφ8	6	L D K 特定寝室 洋室

絶 縁 継 手		数 量	取 付 箇 所
	絶縁ユニオン (銅管15A×銅管φ8接合)	8	床 下

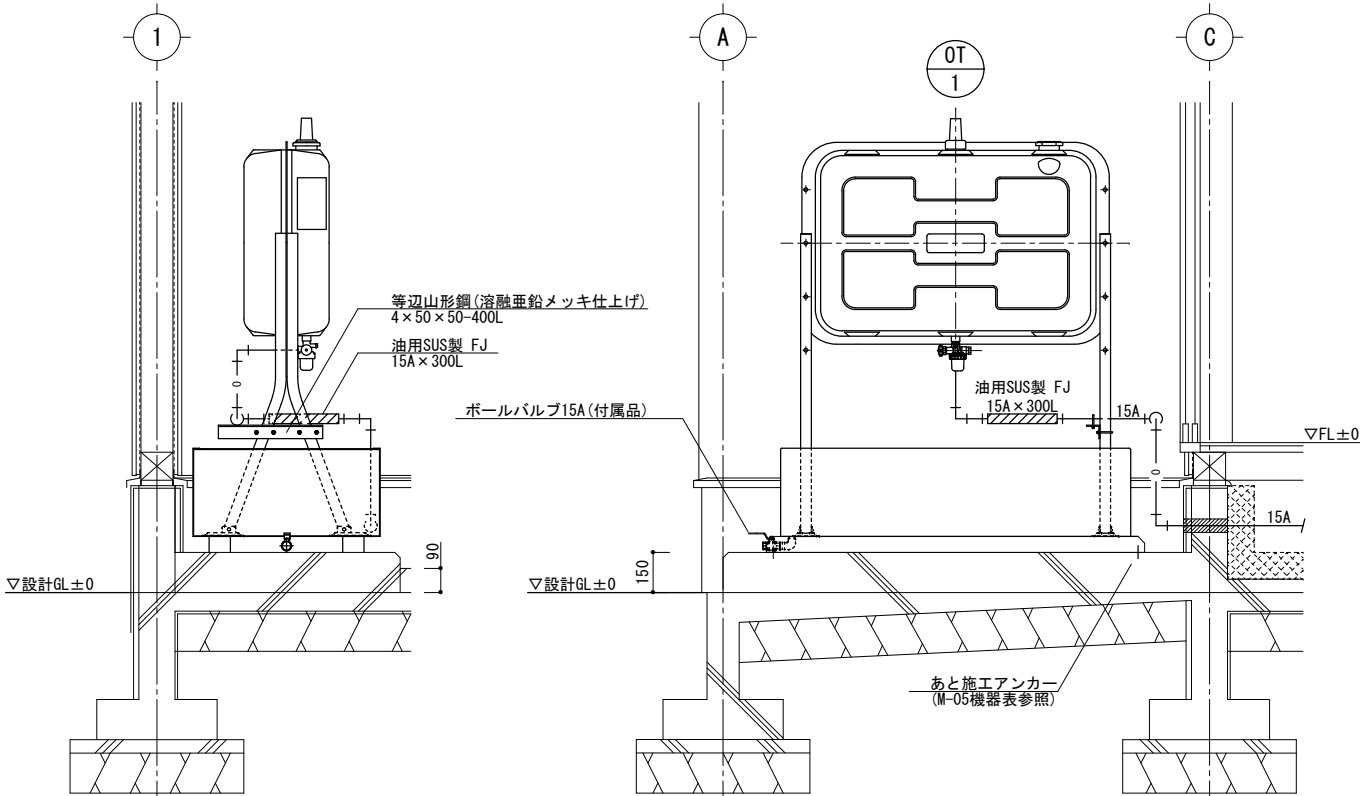
注記) 「標準図」施工3 異種管の接合要領(4) (イ)による。

ガス設備 仕様表

ガ ス 栓		数 量	室 名
	単口ヒューズガス栓 15A	2	L D K
	検査孔付ねじガス栓 15A	2	屋 外



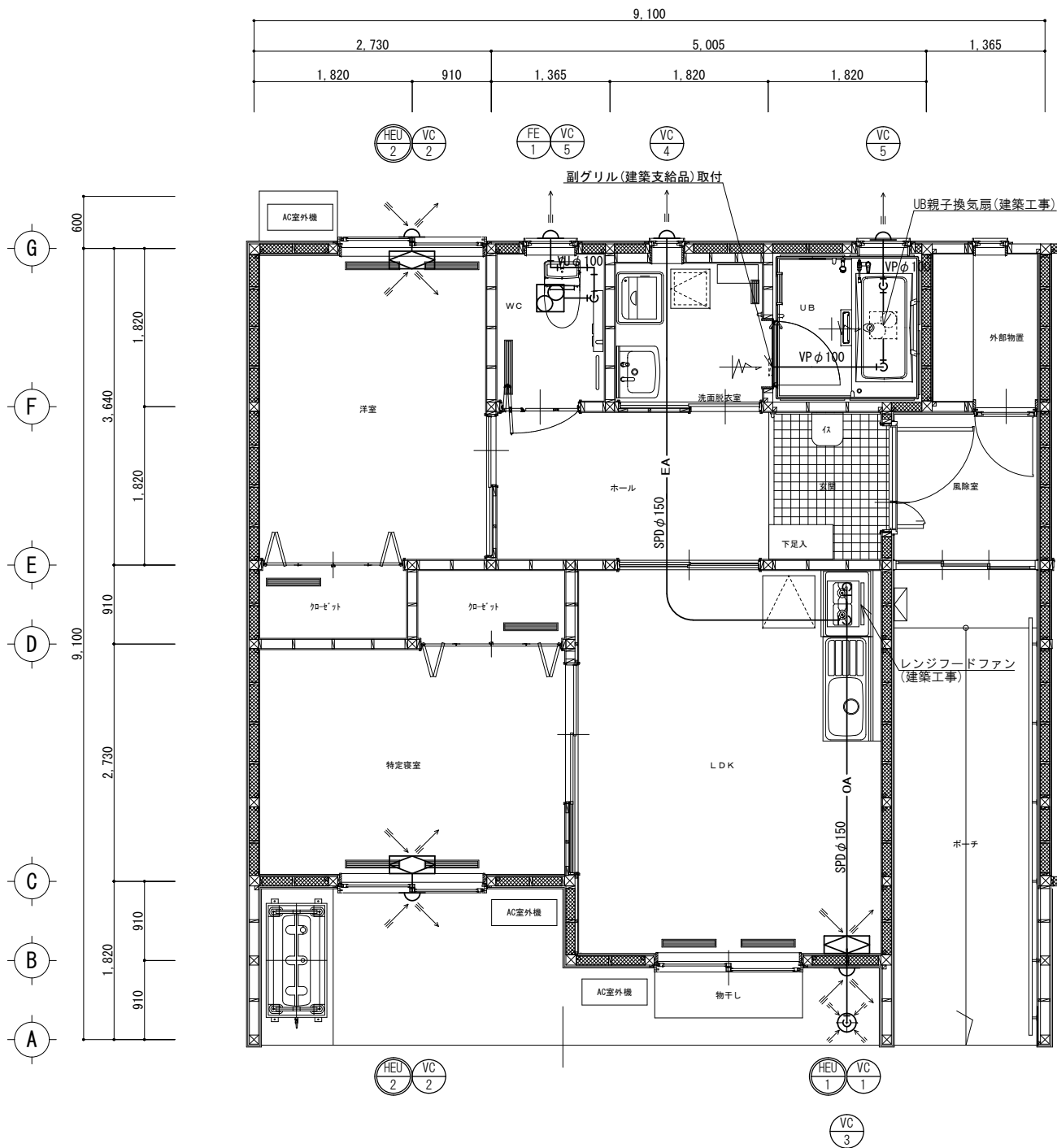
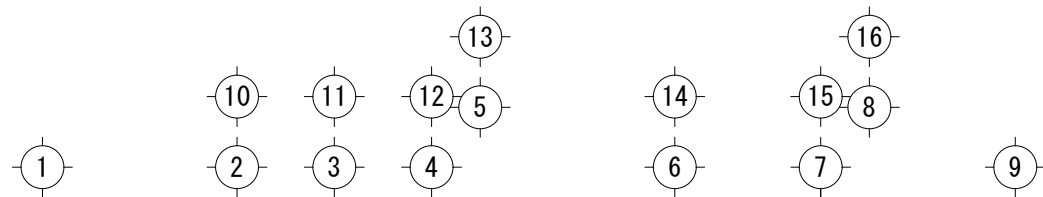
ガスポンベ廻り詳細図 S=1/20



オイルタンク (OT-1) 廻り詳細図 S=1/20

注記) あと施工アンカーとアルミ製防油堤とオイルタンクの接触部は、絶縁スリーブ及び絶縁ワッシャーにて絶縁すること。

No.	24200	芦野団地市営住宅(No. 7号棟) 建替建設(機械設備)工事 設 計 図	DR. NO. M-08
DATE	R07. 03. 25		
		送油・ガス設備平面図・詳細図	SCALE (A2) 1/50・1/20
		株式会社 青 和 設 計	
		青森県五所川原市宇津谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)	
		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子	



換気設備平面図 S=1/50

換気設備 凡例

名 称	記 号	仕 様	数 量	室 名	備 考
換 気 扇		換気機器表による			
換気フード		換気機器表による			
全熱交換器		換気機器表による			

UB親子換気扇（建築工事）	数 量	室 名	備 考
天井埋込型（低騒音形） 能 力：100φ×85m3/h×45Pa 1φ100V-13.0W 参考品番：FY-24CPS8 付 属 品：副吸込みグリル FY-GKP04	1	UB 洗面脱衣室 (副吸込みグリル)	UB付属品

注記）レンジフードファン（建築工事）のダクト配管は、本工事とする。
UB親子換気扇（建築工事）のダクト配管及び副吸込グリル取付は、本工事とする。
FE-1の接続は保温付フレキシブルダクト（耐湿用・500L）とする。

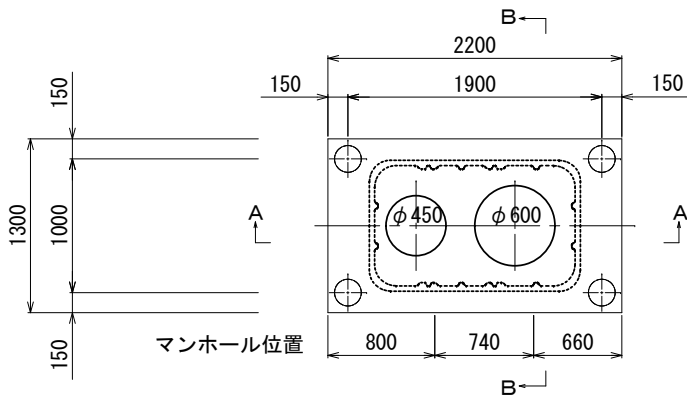
⊖・・・24時間換気

・・・天井点検口 600×600 断熱タイプ（建築工事）

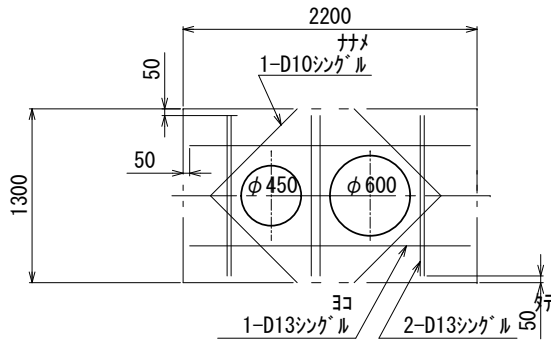
・・・天井点検口 450×450 断熱タイプ（建築工事）

・・・天井点検口 450×450（建築工事）

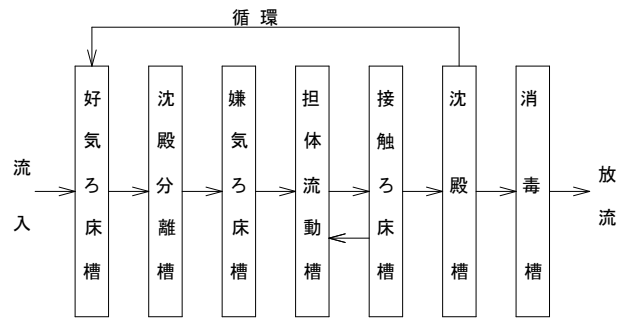
No. 24200	芦野団地市営住宅(No. 7号棟)建替建設(機械設備)工事設 計 図 DR. NO. M-09
DATE R07. 03. 25	換気設備平面図 SCALE (A2) 1/50
	株式会社 青 和 設 計
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代) 管理建築士 館 山 良 子



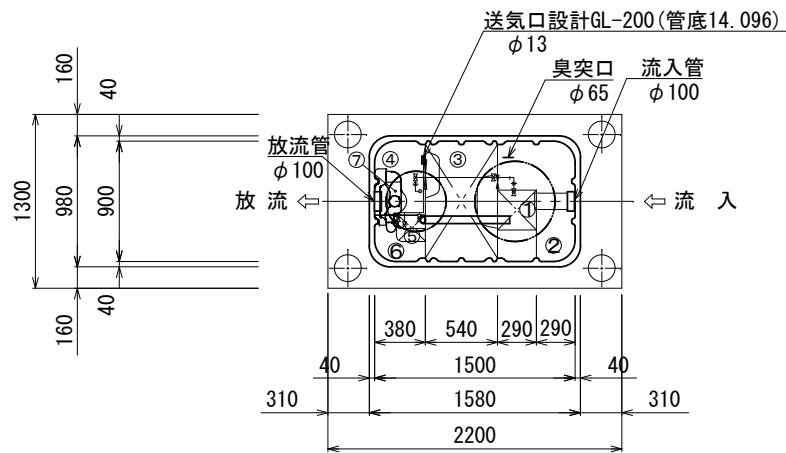
頂版開口図 S=1/40



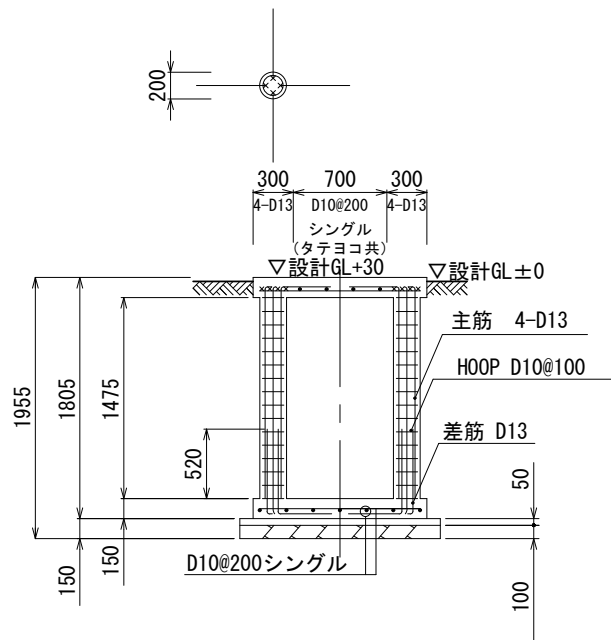
開口補強筋要領図(参考) S=1/40



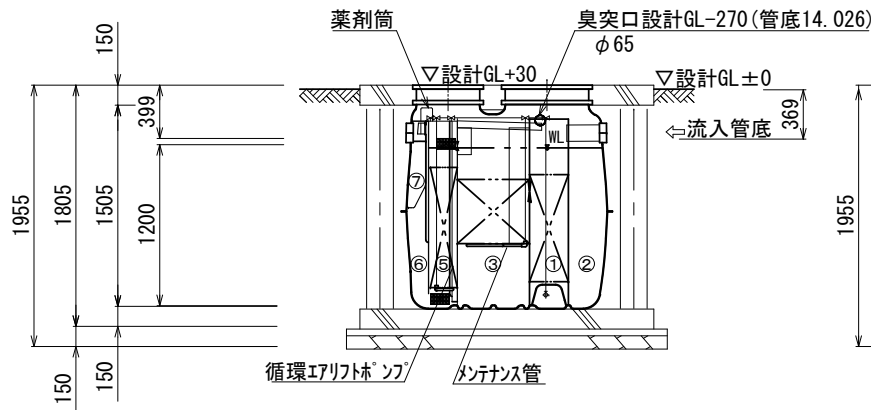
フローシート



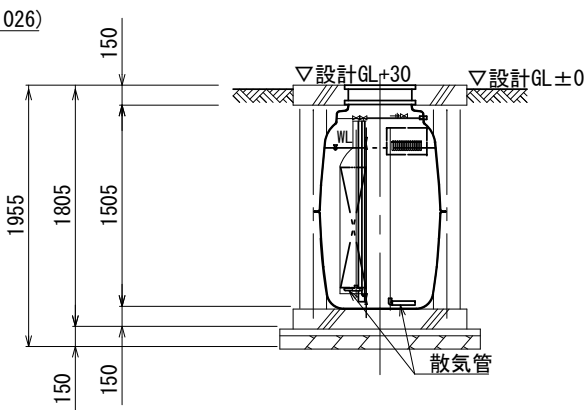
浄化槽平面図 S=1/40



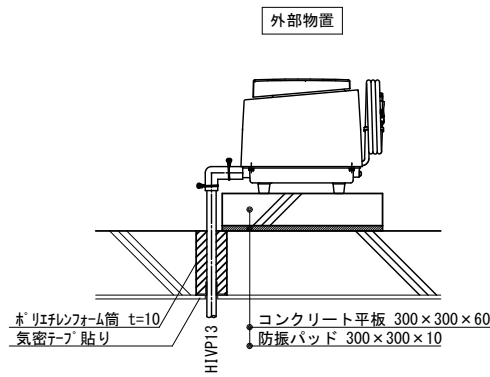
B-B断面配筋図(参考) S=1/40



A-A断面図 S=1/40



B-B断面図 S=1/40



送風機詳細図 S=1/10

仕様	
種類 / 型式	合併処理／KZⅡ－5
処理方法	担体流動接触ろ床循環方式
処理対象人員	5 人
一人当り汚水量	0. 2 m ³ /人・日
計画汚水量	1. 0 m ³ /日
流入水BOD濃度	200 mg / L
放流水BOD濃度	20 mg / L
BOD除去率	90 %以上
流入水T-N濃度	45 mg / L
放流水T-N濃度	20 mg / L
T-N除去率	56 %以上
流入水SS濃度	160 mg / L
放流水SS濃度	15 mg / L
SS除去率	91 %以上
有効容量 m ³	
① 好気ろ床槽	0. 105
② 沈殿分離槽	0. 432
③ 嫌気ろ床槽	0. 528
④ 担体流動槽	0. 205
⑤ 接触ろ床槽	0. 040
⑥ 沈殿槽	0. 083
⑦ 消毒槽	0. 015
総容量	1. 408
電気機器仕様	
送風機	60L / 分 (0. 015MPa)
	100V, 35W, 1台

特記事項						
使用材料	コンクリート		FC=21-18(15)-20(25) 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC=18N/mm ²			
	鉄筋		SD295A (規格品) 特記なき事項はJASS5による。 全て40dとする			
配筋事項	継ぎ手・定着長さ					
* 砕石厚サの条件 (本図は砕石200mmとする)						
地 盤	土 質	岩盤・土丹	砂礫・砂		シルト・粘土・ローム	
	N 値	N ≥ 10	N < 10	N ≥ 10	N < 2	N ≥ 2
地 業 (砕石)	種 別	地はだ	砂利	砂利	砂利	砂利
	厚さ (mm)	100	100	60	150	60
地耐力	必要地耐力		40kN/m ² (想定)			
その他	・全高には、かさ上げパイプ(φ450, φ600)含む。					
	・浄化槽設置における土工事及び基礎躯体工事は、 建築工事とする。					
	・マンホールカバー(T-6 FRP製 ロック付)は、 建築工事に支給する。					
	・地下水位に応じて浮上防止をすること。					
	・高さ関係は、設計GL±0(14, 616)を基準とすること。					

No. 24200	芦野団地市営住宅(No. 7号棟)建替建設(機械設備)工事設計図	DR. NO. M-10
DATE R07.03.25		SCALE (A2) 1/40・1/10
	浄化槽設備詳細図(参考)	
	青和設計	
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市宇津谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子	